



く、又直に疲勞するものであるからこれも必ず匡正すること。

信號ラツバの音階及び音域

信號ラツバの音階及び音域を示せば次の如くである。



信號ラツバの旋律は種々複雑に出来てゐるが、それ等の譜は凡て上記五音を反復重用したものにすぎぬのである。

信號ラツバの音符

信號ラツバの譜は、五線上に音符及び休止符其他の記號を記載して示す。而して音符は音の長短を示し、休止符は音を發せず黙止してゐる時間の長短を示すものであつて、これらは拍數を以て數へる様になつてゐる。一拍と稱するのは、普通我々の歩行の際の一步

々の時間の長さ等に等しいものである。

音符及び休止符の種類と其の長短とを示せば次の如くである。

音符	全音符	二分音符	四分音符	八分音符	十六分音符
	(四拍)	(二拍)	(一拍)	(二分の一拍)	(四分の一拍)
休止符	全体止符	二分止符	四分止符	八分止符	十六分止符
	(四拍)	(二拍)	(一拍)	(二分の一拍)	(四分の一拍)

上記の音符の右に小點を加へ、其の長さを増加することがある。これを附點音符と云ひこの場合は其の音符の持つ長さの二分の一を更に長く延すものである。

たとへば ♩ 音符(二拍)に附點がある場合即ち ♩. は(三拍)の長さに ♩ 音符(一拍)に附點がある場合、即ち ♩. は(一拍半)の長さとなるのである。

音符に附點音符がある如く、休止符にも附點休止符と稱するものがあるが、時間の長さは凡て音符の場合と全く同様である。

(5) 以上の音が完全に發音出来る様になつたらば、次に低音と中間音の連続、中間音と高音の連続の發音練習をするのである。

而して以上の五音の發音が完全に出来たらば、讀譜の知識さへあれば、最早凡ての信號ラツバ譜を獨りでに吹奏する事が出来るのである。

連奏に就いて

信號ラツバを多人數にて合奏する場合には各自のラツバを一様に音調を合せて置く事が肝要である。即ちラツバの音調は各人の唇或は齒の關係及び吹奏の如何により、多少の高低を生ずるものであるから、吹奏に先だち豫め、伸縮管(吹き口より接續する長き管)の伸縮により音の高度を調節し、各人一様の音調となる様調子を整へて置くものである。

尙吹奏行進を行ふ場合は、多人數のラツバ手を區分して交互に吹奏する事が多い。此の際は吹奏中のものが第四小節の第二拍到る時、次の者は一齊にラツバを口に當て、次の吹奏の準備をするのである。

信號ラツバの手入法

- 1 吹奏後は必ず吹き口を離脱し、唾液を充分に出すこと。
- 2 外部、内部共、常に布片を以て拭淨めて置くこと。
- 3 内部に甚だしく汚垢の附着したる時は、吹き口及び伸縮管を取はずし、水或は温湯を注入、洗滌をなし、後充分にこの水分を拭きとること。

おはり

陸軍ラツバ譜

目次

敬禮ノ部

君ケ代 疾ノ 踏 足 曳 漸行カハ
皇御國 國ノ 旗メ 吹ナス笛

軍隊、學校ノ部

歩兵 騎車兵 騎兵 野砲兵 (野砲砲兵)
山砲兵 (獨立山砲兵) 騎砲兵
野戰重砲兵 重砲兵 高射砲兵 工兵
鐵道兵 電信兵 飛行兵 氣球兵
輜重兵 教導隊 (練習隊、練習生隊)
教化隊 補充隊 (留守隊) 醫隊
大隊 中隊 機關銃隊 照空隊 電氣
中隊 近衛 獨立守備 後備 學校
士官學校本科 士官學校預科 幼年學
校 教導學校 工科學校 自動車學校

號音ノ部

起床 點呼 食事 會報 消燈 火災
非常 飛行機警報 氣ヲ著ケ 休メ
解レ 故ヘ 前ヘ 止レ 返歩
擊方待テ 集レ 突撃 (襲撃)

招呼ノ部

團隊長 將校 週番 喇叭手

行進ノ部

逆步行進 (其一) 逆步行進 (其二)
返步行進 越界行進

號音ノ部

起床

♩=114

F F F F ミ F F F ツ F F ミ F 0

ミ ミ ミ ミ ツ ミ ツ ミ F ミ ツ ツ F

點呼

♩=114

F ツ ツ F ツ F F F F ミ ツ ツ ツ ツ

ミ ミ ミ ツ ミ F F F F ミ F

食事

♩=114

F F F F F ミ ミ ミ ミ F ミ F ミ ツ ツ

F F F F F ミ ミ ミ ミ F ミ F ミ F

會報

♩=114

F F F F F ツ ミ F ツ F F F F ツ F

消燈

♩=114

F F F F F F ミ F ミ ツ ツ 0

火災

♩=170

ツ ツ ツ ツ F F F F F F 0

非常

♩=170

F F F F F ツ ツ ツ ツ ツ ツ ツ

飛行機警報

♩=170

ツ ミ F ミ ツ ツ ツ ツ ツ ツ

氣を付け

♩=114

ツ ツ ツ F F F F ミ ミ ツ ミ F F ツ ツ F

休め

♩=114

F F ツ F ツ F F F F F F F F F F

照れ

♩=114

F F F F F F F F F F F F F F

故へ

♩=114

F ツ F ツ F 0 F F ツ F ツ F 0 F

前へ

♩=114

F F F F F F F F F F F F F F

止 ね

♩=111

ソ フ ミ フ ミ フ ソ フ フ ミ フ ミ フ ソ フ

断 歩

♩=179

フ 0 フ 0 ミ フ ミ フ ソ 0 フ ミ ソ

群方待て

♩=111

フ ミ ソ フ ミ ソ

集 ね

♩=114

フ フ フ フ ミ フ ミ フ ソ フ ミ フ ソ

突 撃 (襲撃)

♩=176

フ フ ソ ソ フ フ フ フ ミ フ ミ フ ソ フ

フ フ ソ ソ フ フ フ フ ミ フ ミ フ ソ フ

24

行 進 の 部

進 歩 行 進 其 一

♩=114

ソ フ ミ フ ミ フ ミ ソ ソ ソ ミ ソ ミ フ

ソ フ ミ フ ミ フ ミ ソ ソ ソ ミ ミ フ 0

ソ ミ ソ ミ フ ソ フ ミ ミ ミ フ ミ フ ソ

ソ ミ ソ ミ フ ソ フ ミ ミ ミ フ フ 0

フ フ フ ミ フ ソ フ フ ミ フ ソ ソ

フ フ フ ミ フ ソ フ フ フ ミ フ 0

ソ ソ フ ミ フ ソ ソ ソ ソ ミ フ

ソ ソ フ ミ フ ソ ソ ソ ソ フ 0

26

海 軍 ラ ッ パ 譜

目 次

禮 式 ノ 部

君カ代 海行カヘ 國ノ旗メ

水鏡ヲ見 哀ノ極 命ヲ捨テテ

呼 集 ノ 部

隊長 生徒 總員 兩舷直 總衛兵

衛兵 信號員 上陸員 短艇

日課週課ニ關スル部

起床 釣床 食事 消機 診察 洗濯

掃除 武器手入 要具收メ 武器點檢

軍事點檢 巡檢用意 巡檢 分隊點檢

部署、動作、射撃ニ關スル部

合戦準備 戦闘 夜戰 突撃 防水

警戒 航空機防禦 出入港用意 陸戰

隊用意 就隊集合 課業始メ 休憩

其ノ場ニ休メ 解散 元へ 氣ヲ著ケ

配置ニ著ケ 待テ 掛レ 伏セ 起テ

進歩 断歩 前進 退却 打方始メ

打方待テ 打方控へ 打方止メ

行 進 ノ 部

進歩行進 進非行進

12

上 陸 員

♩=180

ソ フ フ フ ミ フ ソ ソ フ フ フ フ ソ 0

短 艇

♩=170

ソ ミ フ フ ソ ミ フ フ

日課週課ニ關する部

寢 床

♩=170

ソ フ フ フ フ ミ フ フ フ ソ フ フ フ 0 ミ

ミ ミ ミ ミ ソ ミ ソ フ フ ミ ソ フ

的 床

♩=130

ソ ソ フ ソ ソ フ ソ ソ ミ ソ フ 0

食 事

♩=130

フ フ フ フ フ ミ ミ ミ ミ ミ フ フ フ フ 0

フ フ フ フ フ ミ ミ ミ ミ ミ フ フ フ フ 0

着 換

♩=114

ソ フ ソ フ ミ ソ ミ ソ ミ フ フ フ 0

35

部署・動作・射撃に関する部

合戦準備 $\text{♩} = 130$
 フソフソ フソフソ ソソソソソ フ 0 0

戦闘 $\text{♩} = 114$
 ソソソソソソ ソソソソソソ ソソソソソソ フフソ 0

夜戦 $\text{♩} = 130$
 ソソソソソソ ソソソソソソ ソソソソソソ フフソ 0

突撃 $\text{♩} = 170$
 フソソソソ フソソソソ フソソソソ ソソソ 0

放水 $\text{♩} = 57$
 ソ ソ ソ ソ

警戒 $\text{♩} = 114$
 ソソソ ソソソソ

航空機防禦 $\text{♩} = 170$
 ミソソソソ ソソソソソ ソソソソソ 0

$\text{♩} = 170$
 ミソソソソ ソソソソソ ソソソソソ 0

連歩 $\text{♩} = 114$
 ソソソソソソ ソソソソソソ ソソソソソソ 0

駆歩 $\text{♩} = 170$
 フソソソソ ソソソソソ ソソソソソ ソソソ 0

前進 $\text{♩} = 170$
 ソソソソソ ソソソソソ ソソソソソ ソソソ

退却 $\text{♩} = 170$
 フソソソソ ソソソソソ ソソソソソ ソソソ

撃方始め $\text{♩} = 130$
 フソソソソ ソソソソソ

撃方待つ $\text{♩} = 170$
 ソソソ ソソソ

撃方控へ $\text{♩} = 170$
 フソソソソ ソソソソソ

撃方止め $\text{♩} = 114$
 ソソソソソ ソソソソソ

出入番用意 $\text{♩} = 170$
 フソソソソ ソソソソソ ソソソソソ 0

陸戦隊用意 $\text{♩} = 114$
 ソソソソソ ソソソソソ ソソソソソ ソソソ

銃隊集合 $\text{♩} = 130$
 ソソソソソ ソソソソソ ソソソソソ ソソソ

操業始め $\text{♩} = 114$
 ソソソソソ ソソソソソ ソソソソソ

休憩 $\text{♩} = 114$
 フソソソソ ソソソソソ ソソソソソ

其場に休め $\text{♩} = 114$
 ソソソソソ ソソソソソ

解散 $\text{♩} = 114$
 ソソソソソ ソソソソソ ソソソソソ

元へ $\text{♩} = 170$
 ソソソソソ ソソソソソ

旗を付け $\text{♩} = 114$
 ソソソソソ ソソソソソ

配置に就け $\text{♩} = 114$
 ソソソソソ ソソソソソ

待て $\text{♩} = 114$ 掛 $\text{♩} = 65$
 ソソソ ソソソ

拭き $\text{♩} = 130$
 ソソソソソ ソソソソソ

起て $\text{♩} = 130$
 フソソソソ ソソソソソ